



にゅうがく しんきゅう  
**入学・進級おめでとうございます。**

59名の<sup>めい</sup>新入生<sup>しんにゅうせい</sup>を<sup>ともだち</sup>友達に<sup>むか</sup>迎え、<sup>しんがっき</sup>新学期がスタートしました。子どもたちは、<sup>にゅうがく</sup>入学や<sup>しんきゅう</sup>進級の<sup>よろこ</sup>喜びを感じながら<sup>とうこう</sup>登校しています。中には、<sup>なか</sup>新しい<sup>あた</sup>学級に<sup>がっきゅう</sup>馴染めるかな、<sup>な</sup>勉強は<sup>べんきょう</sup>大丈夫かななど<sup>だいいじょうぶ</sup>不安を抱えている子もいます。子どもたちが、<sup>あんしん</sup>安心して<sup>せいかつ</sup>生活ができるよう<sup>かてい</sup>家庭、<sup>がっこう</sup>学校、<sup>ちいき</sup>地域が<sup>ちから</sup>力を<sup>あ</sup>合わせていきたいと考えています。<sup>かが</sup>ご協力<sup>きょうりょく</sup>よろしく<sup>ねが</sup>お願いいたします。

★**「家庭人権学習の日」をお子さんと楽しく過ごしましょう!**

<sup>こんねんど</sup>今年度も、<sup>まいつきだいいちにちようび</sup>毎月第一日曜日<sup>かていじんけんがくしゅう</sup>の「家庭人権学習の日」を、<sup>かてい</sup>ご家庭で<sup>こ</sup>お子さんと<sup>たの</sup>楽しく<sup>す</sup>過ごしましょう!



<sup>たの</sup>と楽しく<sup>す</sup>過ごしてほしいと思います。昨年度は、<sup>おも</sup>学年や<sup>さくねんど</sup>家庭で<sup>がくねん</sup>工夫した<sup>かてい</sup>取り組み<sup>くふう</sup>と<sup>とく</sup>く

<sup>かんが</sup>みを<sup>かんが</sup>考えていただき<sup>たの</sup>楽しい<sup>じかん</sup>時間を<sup>す</sup>過ごせたようです。<sup>かぞく</sup>家族で<sup>きかい</sup>ふれあう<sup>たいせつ</sup>機会を<sup>こ</sup>大切に<sup>いっしょ</sup>し、<sup>こ</sup>お子さんと<sup>いっしょ</sup>一緒に

<sup>あたた</sup>温かい<sup>じかん</sup>時間をお<sup>す</sup>過ごしください。<sup>まいつきだいいちにちようび</sup>毎月第一日曜日<sup>まえ</sup>の前に「家庭人権学習の日 <sup>かていじんけんがくしゅう</sup>振り返りカード」<sup>ひ</sup>を持って<sup>ふ</sup>持って<sup>かえ</sup>も

<sup>かえ</sup>帰ります。どんなことをしたのかを<sup>か</sup>書き、<sup>かんそう</sup>感想も<sup>か</sup>お書きください。<sup>きょうりょく</sup>ご協力<sup>ねが</sup>よろしく<sup>ねが</sup>お願いいたします。

<sup>がつ</sup>5月と<sup>がつ</sup>10月は、<sup>ぜんこうおな</sup>全校同じで「家庭読書の日」とします。<sup>こ</sup>子どもにとって<sup>どくしょかつどう</sup>読書活動とは、<sup>ことば</sup>言葉を<sup>まな</sup>学び、<sup>かんせい</sup>感性

<sup>みが</sup>を<sup>ひょうげんりょく</sup>磨き、<sup>たか</sup>表現力を<sup>そ</sup>高め、<sup>そうぞうりょく</sup>想像力を<sup>ゆた</sup>豊かに<sup>たいせつ</sup>するために<sup>こ</sup>大切な<sup>かてい</sup>ものです。そこで、<sup>いっしょ</sup>ご家庭で<sup>どくしょ</sup>一緒に<sup>どくしょ</sup>読書をする

<sup>すこ</sup>ことで、<sup>こ</sup>少しずつでも<sup>どくしょしゅうかん</sup>子どもたちの<sup>つちか</sup>読書習慣を<sup>ていがくねん</sup>培うことができます。<sup>ていがくねん</sup>低学年の

<sup>こ</sup>お子さんであれば<sup>よ</sup>読み<sup>き</sup>聞かせも<sup>こうがくねん</sup>いいですね。<sup>こ</sup>高学年のお子さんとは、それぞれ

<sup>ちが</sup>違う<sup>ほん</sup>本を<sup>よ</sup>読んで<sup>かんそう</sup>感想を<sup>い</sup>言い<sup>あ</sup>合ったり、<sup>こ</sup>お子さんが<sup>よ</sup>読んだ<sup>ほん</sup>本について<sup>はな</sup>話してもらっ

<sup>たの</sup>たりして<sup>たの</sup>楽しんで<sup>おも</sup>いただけたらと思います。



## ★教科書はなぜただなの？

小学校に入学しても、学年が上がっても、「教科書代」は必要ありません。毎年人権通信でお知らせしていますが、小・中学校の「教科書代」がいなくなったのには、人権教育が大きくかかわっています。

昭和30年頃教科書を買うお金がなく、教育を受けたくても受けることができない子どもたちがたくさんいました。高知県で部落差別と闘っていた地域のお母さんたちは、毎晩集まって日本国憲法について勉強しながら、「教科書をただにする会」をつくり、市や県と交渉を重ねました。

この運動は多くの市民の心を動かし、全国へと広がっていきました。その結果、1963年12月教科書を無償にする法律がつけられました。人権問題を解決するための運動が、すべての人の権利を守り、生活を高めていくことになった素晴らしい例です。教科書を大切に、一生懸命勉強することが大事だということをご家庭でもお子さんにお話してください。このことは教科書だけに限らず、物を大切に扱うことや自分や友達の人権を大切にすることにつながっています。



子どもたちがわかるように、  
学校の人権コーナーに 掲示  
しています。